

＜日本史探究⑩＞平安時代① 教科書:P.55~P.58

①平安遷都と蝦夷との戦い

①奈良末期の<1. >天皇は、仏教勢力を政治から排除しつつ、律令政治の再建をはかった。ついで即位した<2. >天皇(781~806)もその方針を引き継ぎ、(3.)年、(4.)国の(5.)に遷都した。

(1)光仁天皇の次に即位した天皇は? ()

(2)(1)は784年、どこに都を移したか? ()

②しかし、その翌年に5の造営を主導した<6. >が暗殺されると、その首謀者とされた皇太子の<7. >は、廢太子、淡路へ流され、途中で断食して死去した。その後、2天皇は7の怨靈に悩まされるようになり、(8.)年、<9. >の建議で(10.)に遷都した。

(1)長岡京の次に遷都した都は? ()

(2)(1)への遷都は何年? ()年

③780年、蝦夷出身の都司<11. >が(12.)城を襲撃し、大乱となった。<13. >天皇は、797年に<14. >を(15.)に任命し、征討軍を派遣した。14は軍を(16.)川沿いにすすめ、802年には(17.)城を築き、蝦夷の族長<18. >を服属させた。

(1)797年に征夷大将軍となった人物は? ()

(2)(1)を任命したのは? ()

(3)(1)が802年に築いた蝦夷支配の拠点とした城は? ()

④803年には17の北方に(19.)城を築き、東北経営の前進拠点とした。これにともない、(12.)城にあった(20.)は17に移された。その後、811年には嵯峨天皇が15に<21. >を任命し、蝦夷を討した。服属した蝦夷は(22.)とよばれ、各地に移住させられた。

(1)胆沢城に移された蝦夷支配のための役所は? ()

(2)(1)は最初どこに置かれたか? ()

⑤(10.)遷都を機に山背国は(23.)国に改められた。この
(24.)と(25.)の二大事業は民衆の疲弊をまねい
た。そこで<2. >天皇は、805年、25と26の二大政策[26.]に
ついて、中止を主張した<27. >と繼續を主張した<28. >
に(29.)をおこなわせ、27の主張を採用し、二大事業を中止した。

2 平安初期の政治改革①

①国司の交替の際、新任国司は事務引き継ぎが完了したことを示す(30.)
を前任国司に渡した。この30がないと前任国司は新しい職につけなかつたため、
30をめぐる不正や争いが多発した。そこで<31. >天皇は、(32.)
といふ(33.)を設置して、国司の交替を厳しく取り締まつた。

※33: 令に規定のない官職…大納言を補佐する(34.)や(35.)など

(1)令外官の1つで、国司の交替の際の事務手続きを厳しく監督させた官職
は? ()
(2)(1)を設置したのは? ()

②軍事面では、唐の衰退などで東アジアの緊張が緩和したことを受けて、(36.)年に
東北や九州を除いて(37.)・兵士を廢止し、かわりに(38.)の子弟
や有力農民の志願による少數精銳の(39.)を採用することにした。

(1)792年、桓武天皇が採用した少數精銳の兵士のことを? ()

③ほかにも、(40.)の日数を60日から(41.)日に半減し、公出奉の利
率を5割から(42.)に引き下げ、班田を(43.)年に1回[44.]
に改めるなど、農民の負担を軽減した。このように<45. >天皇は税負
担の見直しなどによって律令体制を立て直そうとした。



③平安初期の政治改革②

① 積極的な政治改革の方針は、1. 天皇・2. 天皇にも
引き継がれた。(3.)年、1. 上皇とその寵愛を受けていた(4.)家の
5. と妹の6. が、上皇の重祚と7. 京遷都を
ねらって反乱をおこした。

(1) 桓武天皇の次に天皇になったのは？

()

(2) (1)の次に天皇になったのは？

()

(3) (1)の寵愛を受けた兄妹は？

()

② 2. 天皇は迅速に兵を出して5を殺害し、6を自殺させた。この
(8.)[=]の際、天皇側の機密保持のための
役所である(9.)を設置し、2. 天皇は(10.)家の
11. と 12. を 9の長官である(13.)に任じた。
8を機に藤原(14.)家は没落し、以後(15.)家が発展した。

(1) 810年に起きた前天皇の復権を企てた事件は？

()

(2) (1)の際に設置された天皇側の機密保持のための役所は？

()

(3) (2)の長官の名称とそれに最初に任命された藤原北家出身の人物は？
長官：() 人物：()

(4) (3)を設け・任じた天皇は？

()

③ また2. 天皇は、平安京内の警察にあたる(16.)とい
う新たな(17.)を置いた。16はのちに裁判も行うようになり、京の統治を
担う重要な職となった。

(1) 9c初めにおかれた、京内の警察・裁判業務を行った官職は？()

④ 律令を補足・修正する法令を(18.)、施行細則を(19.)といい、これらを整
理したものに2. 天皇による『20. 』、21. 天皇に
による『22. 』、23. 天皇による『24. 』の三代格式
がある。18は三代の格を集めた『25. 』が、19は『26. 』が現存
している。26を中心となって編纂したのは27. 天皇で、927年に完成。

- (1) 崇山天皇が分類・整理させた格式は? ()
 (2) 延喜格式が編纂されたときの天皇は? ()

⑤ また、まちまちになっていた(28.)の解釈を統一するため、833年には、令の解釈を公式にまとめた『29. 』が<30. >らによって編まれ、9c後半には、<31. >が多くの注釈を集めた私撰注釈書の『32. 』を編纂した。

4 9cの土地制度

① 9cになると、庸・調が女性に課されなかったのを利用して、男子が女子といつわる(33.)が目立つようになった。こうした実情は、914年に<34. >天皇に提出された、<35. >の「36. 」にも指摘されている。

② 庸や調などの徴収が難しくなり、政府は財源の確保のため直接田んぼを経営するようになる。そんな直営田には、大宰府管内に設置された(37.)(823年)や、畿内に設置された(38.)(879年)、諸官司が所有した(39.)があった。

③ また、国だけではなく、天皇にも公費で開墾された(40.)、皇族にも天皇から与えられた(41.)があり、それぞれ独自の財源とされた。

④ 9c後半になると、天皇と親近な関係にある少數の皇族や貴族は、(42.)と呼ばれ、その立場を利用し、多くの土地を所有した。